

## 令和5年度 大津市乳がん検診協議会 議事要旨

1 開催日時：令和6年1月30日（火）18時00分から19時00分

2 開催方法：会場開催（健康づくり会議室）及びオンライン

3 出席者 5名（5名中）

欠席者 0名（5名中）

事務局 4名

傍聴者 0名

### 4 議題

#### ①報告事項

（1）令和4年度乳がん検診の実績について

（2）令和5年度乳がん検診の実施状況について

事務局：報告資料1-1～3、2-1～3に基づき報告

委員：報告資料1-1、3 ページで年代別要精検率の40歳代がかなり高い。これによって40歳代の年代別がん発見率が低く、陽性反応的中度の経年推移も2021年度から2022年度にかけてかなり下がっているが、報告資料1-2でI実施機関の要精検率がかなり高い。実施機関名は非公開なのか。2021年、2022年のいつから入られたのか。

事務局：実施機関名は非公開としている。2021年度1月からの加入である。

委員：数は少ないかも知れないが、陽性反応的中度が下がっているのはI実施機関に起因していると思われるが、いかがなものか。今年は19%まで下がってきているといわれたが、それでもまだ高い。

委員：I実施機関には国の許容値を通知するなど、努力の結果で下がってきているのか。

事務局：特に通知はしていない。県に見解を確認したが、実施人数自体が少ないので今年度においては様子を見るとのことであった。

委員：読影する方としては、全体の水準に合わせようという気持ちがあるので、可能なら大津市の方から現状や基準に合わせるよう通知してもらうのがよい。実施している側は、自機関の状況を分かっていないところがある。自機関の状況を考えながら検診を継続していただいた方がよい。

委員：実施する側はプロセス指標の許容値を知っておくべきであり、もし認識されていないならぜひお知らせした方がよい。

委員：I実施機関がちゃんとした数値を出せば陽性反応的中度などはすごくいい数値になると思う。だから、お知らせするのは非常に大事である。忙しい中で検診の読影は大変かと思うが、許容値や他の実施機関の値と比較すると自機関の状況に気づいてもらえるので、可能なら伝えていただきたい。

事務局：他のがん検診でも要精検率が高い医療機関に対して個別に通知することはあるが、通知を出すとしても大津市名で出すのか協議会として出すのか、方法がいくつかある。協議会名で実施機関側の現状と指標をお知らせするという形で出すことは可能か。

委員：I実施機関だけではなく、他の実施機関も知っておくべきだと思うし、自機関の値を意識しながら実施していただくために、送り先の機関名だけを公開した形で、全ての実施機関に送った方

がよい。併せて全国と滋賀県の指標を提示し、範囲内に収まるよう依頼する旨の文面にするとよい。実施機関はこの表を見て値を意識することがないと思うので、周知する意味でもそれぞれの実施機関に通知した方がいい。

事務局：承知した。現状を認識していただくということで、全ての実施機関に対して、自機関がわかるような形で通知し、その後の数値の変化を見ていく。

委員：報告資料1-1、4ページで大津市の精検受診率目標は100%だが、大体3%の方が受診していない。受診しない理由は把握しているか。

事務局：受診しておられない方には受診勧奨はがきを送り、その後電話をしている。電話が繋がらない場合は把握できていない。

委員：受診しない理由はわからないということか。

事務局：そのとおり。

委員：受診しない理由がわかると、それに対して対策ができるので目標の100%に近づけると思うが、難しいのか。

事務局：本人と連絡が取れないので、それ以上は難しい。

委員：同ページの精検未受診者12人で3%ということか。

委員：そのとおり。

委員：他の人も電話が繋がって受診した人がいるのか。

委員：これは2022年度のデータなので、電話などで勧奨した結果、最終的に精検未受診者が12人だったものと推測する。なお、97.2%はかなり高い値で、全国でも誇るべき精検受診率である。全国は9割に達していない。特に興味深いのは、都市部ほど精検受診率が低く、地方の自治体は比較的高いということが、乳がん検診学会で発表されていた。その中で大津市は電話での勧奨まで実施していることで、97%が出ていると思う。そこはすばらしいと思う。12人中40歳代の8人については非常に心配ではあるが、次の検診を受けていただきたい。

委員：40歳代は乳がん発見率が少ないので、この精検未受診者の中にがんだった方がいるかもしれない。この40歳代の精検未受診者8人は、本当は受けないといけない方々である。

委員：検診を受けるときに、要精検の場合必ず受診するよう伝える文面は入っているか。

事務局：事前確認書兼同意書に「要精検になった場合は必ず精密検査を受診する」とあり、同意の上で検診を受けていただくようになっている。そこは医療現場でも説明していただいております。精検受診率向上に繋がっていると捉えている。同意書には一定の効果があると考えている。また、精検未受診のままだと次の検診が受けられなくなり、受診希望の連絡があれば未受診の精密検査を受けるよう伝えている。そこで拾い上げることができる人はいる。

委員：自院にも検診を受けようと思ったら前回精検未受診だったので断られたとあって、受診しに来た人がいた。

委員：検診を受けるときに、要精検で未受診だったら次の検査は受けられない文面を載せることはできないか。

委員：今後、県内集合契約に参画することになるので、大津市が単独で検診票を変更することはできない。このような問題があるということを県の方に上程したらいいと思う。

40歳代の精検未受診者の割合についても、特別に高いということはない。3~4%は受けない方がいるだろう。県内集合契約になっても精検未受診だったら次回の検診は受診できないという

ことは変わらないのか。

事務局：その運用は変わらない。

委員：県内集合契約でも、精検未受診の場合は次回の検診は受診できないことを書いてもらったらいと思う。県内集合契約に移ると、ネット予約はどうなるのか。

事務局：現在、個別医療機関のみの予約を受け付けているが、こちらはなくなる。代わりに集団検診の受付で使用できるよう運用を構築中である。

委員：市で行っていたネット予約分が今後すべて電話受付で病院が対応しないといけないことになる。多大な労力がかぶさってくる。

委員：そのことについては、県の会議でも話が出ており問題になっているが、仕方ないことである。

委員：せっかくネット予約が軌道に乗ってきており、特に若い人は多くがネット予約を利用されている。最近、個人の診療所などの予約はネットになっている。

委員：40歳代、50歳代は仕事をされている方が多いので、ネット予約がなくなるとそういう方が日中に予約が取れずに受診率が下がると問題だと思う。

委員：県内集合契約の市町でネット予約を運用してもらうような要望をきいてもらうことはできないのか。

事務局：県内集合契約は市町の集合体なので、統一したひとつのシステムを運用するというのは難しいと思う。先ほど言っておられたように、一部のクリニックでは独自でネット予約をされているので、できたら各病院側でもネット予約の体制を用意いただけるよう御協力をお願いしたい。要望として県に伝え、働きかけていくことは可能かと思う。できる限りのことはさせていただく。

委員：大津市は県の中では割と都会で、しかも若い方が多い。県内集合契約の中でも、ネット予約は先導してもらいたい。

委員：年代構成からみて一番若いのは、草津・栗東だが、そちらはどうしているか。

事務局：市町としてネット予約はとっておらず、病院にネット予約があれば取れるようにはなっている。これまで大津市は個別契約を続けてきて、ネット予約を取ってきた経験があるが、他の市町ではネット予約の体制を構築する考え自体がないかもしれない。今回の数値を他の市町にも伝え、ネット予約の必要性を伝えるなど働きかけていくことはできる。

委員：ネット予約をしてはいけないということではないのか。

事務局：そういうことではない。

委員：これからネット予約をできるようにしていったらいいと思う。

事務局：どこの市町が取りまとめて運用していくか、どういった形でシステムを構築していくのかということが課題になると思う。

## ②議事

### (1) 大津市乳がん検診協議会の廃止について

事務局：協議資料に基づき報告

委員：県の会議は全体の話が多く、市町単位での細かい話は出てこない。本日のように委員が集まり、資料を確認して、討議しないといけない話があると思う。協議会がなくなるのは仕方ないが、

別の形で検診を実施している医師と事務局などが話し合う場はあってもいいかと思う。事務局の方などと話し合う機会が全くなってしまうと、こちらが意見を言いたいときどのように伝えたらいいのかわからない。今はこのような会があるので意見が言えるが、全くなってしまうとなると、どうかと思う。別の形として何か会合の場を残せないか。

事務局：それは、乳がん検診に特化した会議という意味合いになるか。大津市の協議会としては、他にがん対策推進委員会を設けており、そちらの目的に沿って事務の進捗ということで報告等をしている。個別の検診の議論には至らないことが多いが、各検診の受診率、精検受診率等の報告はしている。

委員：他のがん検診に関しては、協議会はあるのか。乳がんだけがなくなるということか。

事務局：子宮頸がん検診はすでに県内集合契約なので協議会を持っていないが、その他のがん検診については協議会がある。

委員：たいそうな会でなくていいが、意見交換できるような何かこちらから意見を言えるような会があるといい。その会がなければ、どうやってこちらから意見を出せばいいのかと思う。

委員：現在、県内集合契約においては、講習会などはされているが、このように事務方とのやり取りはあるのか。

委員：ない。それぞれの立場の方が来られて、委員が8名ぐらいいて、もう少し大きな話し合いをしている。あまり細かい話し合いはでない。

委員：今回のような個別医療機関の要精検率の話等はない。検診をやっている病院の代表が集まるような会があればいいと思う。

委員：4月か5月に冊子で送られてくるものがあり、今回の報告資料と似たような内容が載っているが、大津市が出しているような詳細なデータはない。

委員：残りの25施設にまとめられてしまう。たくさん検診をしている施設は、きちんと分類されているが、その他はまとめられているので、自機関がどうなっているかはわからない。大津市の特性もあり、滋賀県全体とはまた少し異なる傾向があると思うので、何か話し合える場ができたらいいいと思う。

委員：乳がん検診協議会がやっている取組は、全部大津市ではやらないということになるのか。

事務局：県の部会に合流する形で、そこで議論を重ねていくということになる。

委員：県の中で決まったことをやることになるのか。たとえば、クーポンとかは続けていくのか。

事務局：県としての方向性が示されて、それをもとに最終的には各市町が判断ということになる。県としての方向性は、ひとつの会の中で決めていくことになる。

委員：各市町の判断は保健所の方で決めていくのか。

事務局：そのとおり。

委員：保健所で何か相談するところは特にないのか。

事務局：そのとおり。大きな方針転換となると、がん対策の委員会で諮ってという可能性はある。

委員：勧奨の仕方や受診券の配布について、市町独自の事業としてされている。60歳代には受診券を配り続けてほしいと2年前からお願いして続けてもらっている。そういった要望を言える場が、先ほど提案があった話し合える場ではないかと思う。

委員：県で話し合うことと、市町で話し合うことは少し違う。どうしたらいいのかわからないが、廃止と言われると考える。

委員：「大津市乳がん検診懇話会」のようなものはどうか。

委員：協議会も1年に1回であり、頻度は同様でよいので何か話し合いの機会が持てないかと思う。  
大津市はずっと県内集合契約に入らないということだったが、この度なぜ県内集合契約に入る  
ことになったのか。

事務局：財政面も含め、内部の課題が解決できないため保留にしてきた。今年度初めからそれらを解決  
していくために動き、予算の確保等の内部的なことが解決できたため、各病院にお話に行かせて  
いただいた。

委員：以前は、市からフィルムを借用し比較読影をしていたが、比較読影はなしになるのか。本日の  
症例検討会で比較読影をするようになりかなり推奨したが…。発見率が落ちそうに思う。

委員：発見率が落ちるのではなく、要精検率が増える。要精検率が増えると、発見率が下がり、陽性  
反応的中度が下がる。

事務局：市からのフィルムの借用については現在もしていないので、県内集合契約になるからできなく  
なるということではない。

委員：県として会があるなら同じようなものを残す必要はないと思うが、別の会があってもいいとは  
思う。

事務局：現在は大津市の附属機関という形になっているので、規則によって協議会としての形態を維持  
するのは難しいと考える。他に話し合いができる機会が持てる場があればとの要望については  
は検討させていただきたい。今は白紙の状態なのですぐに返事はできない。

委員：このような話し合いの場がなくなると、多くの場合、市立大津市民病院に意見が偏る可能性が  
ある。ひとつの医療機関にいろんなことを考えてもらうのは賛成できない。

事務局：大津市民に利用していただいている検診なので、他の医療機関の御意見も賜る。決して市立大  
津市民病院にだけ意見を聞くということはない。市立大津市民病院も大津市が委託している一  
医療機関という捉え方である。

委員：前向きに別の会を考えてほしい。このような会があると、この地域でのI実施機関のことなど話  
し合えると思う。I実施機関も参入したところだからきっと手探りなのかもしれない。

委員：多分やる気が空回りしていると思う。初めは陽性に出しやすい。実情はどうなっているかはわ  
からない。

委員：読影している人が変わったのかもしれない。

委員：推測にしか過ぎないのでそれも意味がない。

委員：I実施機関には、今年度中、乳がん検診協議会が存在している間にぜひ情報提供するべきだと思  
う。併せて他の実施機関にもフィードバックをお願いしたい。

事務局：そちらは、今回いただいた意見を踏まえて対応させていただく。

### ③その他

委員：長い間、大津市乳がん検診協議会に携わってきたが、事務局にはいろいろ尽力いただいて、要  
望を実現してもらい、御礼申し上げます。大津市をよりよくできればと私たちは思っているので、  
前向きに考えてもらえたらと思う。

以上